

議案第2号

平成28年度事業報告

平成28年度事業計画の目標に掲げた常時200名の会員数を指すために、今年度は、夜間説明会や「いきいきサロン」等に出向し、地域の方々にシルバー人材センターを周知することができたが、依然として会員数は伸び悩んでいます。皆様の持つ知識や技術は、社会の大切な資源であること、その能力や経験した技能で地域社会の中で活躍し続けられることは素晴らしいことであり、会員さんにはシルバーで働いて、地域の方々に貢献していることに自信と誇りを持ってほしいと思います。

昨年の社会情勢は、就職希望者にとっては、売り手市場であったため、シルバー人材センターでも、企業からの派遣事業の需要が増えてきておりました。従来の請負・委任といった働き方だけではなく、派遣事業を増やすため、多種多様な人材の要請に伴い、1人でも多くの会員が就労できるように県シ連のご協力のもと、育成・支援・SP事業を利用した無料の技能講習会を積極的に開催し、会員並びに高齢者への技能付与や知識の向上を行いました。

また、シルバー人材センターの事業の根幹でもある「安全・適正就業の徹底」を図るため、厚生労働省が作成した『シルバー人材センターの適正就業ガイドライン』を発注者、会員、役職員向けに郵送、並びに説明をし、シルバー事業への更なるご理解を求めました。

新たな試みとして、運動不足になりがちな冬期に、会員を講師とした「筋力アップ体操教室」を開催し、町民の方がシルバーを身近に感じて頂けるよう企画したり、年間を通じて会員が自分たちで楽しめることを計画したりと少しずつではあるが、高齢者の生きがい・健康づくりのシルバー人材センターとしての側面も、充実できたと思います。

以下、28年度の事業状況についてご報告致します。

1 組織運営体制強化

事業拡大と財務基盤確立のため、より効率的な事業運営を目指した組織体制の構築を図った。

(1) 会員増強

- ・町広報を活用した募集及び独自ホームページによるPR。
- ・各区会、町会へチラシの配布・回覧を要請
- ・会員ボランティアによる町内全世帯を対象とした、手作りチラシの配布
- ・一会員一就業先開拓呼び掛け
- ・各地区の「いきいきサロン」への出向入会勧誘
- ・各地区への定年退職予定者への夜間説明会の開催

(2) 事務局体制強化

- ・役員・会員による専門委員会設置と円滑な運営への取り組みを行なった。
- ・積極的な研修会参加による職員の業務能力向上を図った。
- ・朝礼等による情報の共有と業務の確認（常時）

(3) 会員による自主運営確立推進

見積もり・現場管理・業務完了確認など、事務局主導を見直し、可能な限り「会員が運営するシルバー人材センター」という認識を浸透するよう努めた。

- ・職群班・地域班など将来の組織構築を見据えた、資質・技量のある会員の養成
- ・専門委員会による新規事業（野菜市開設、機関誌発行）への準備を行なった。
班ごとの研修会・交流会・親睦会・グランドゴルフ大会（年2回）

2 就業機会の開拓

事業の根幹であり、自主財源確保対策の最重要課題として、就業開拓員と協力した受注営業活動を行なった。

(1) 町内及び隣接する地域の企業・事業者・一般家庭に人材派遣業務及び会員が対応可能な業務を知らせ、就業機会の開拓

- ・会員ボランティアによる町内全世帯へのPRチラシ配布
- ・企業・事業者に対するPRと提案型営業活動の推進・強化
- ・季節ごとに(剪定・雪吊り・除草・除雪等)予約募集のハガキを送付
- ・会員向け求人情報の掲示、お知らせ
- ・子育て分野(ファミリーサポートセンター)との連携強化

(2) 大野市シルバー人材センターへ視察研修に行き、野菜市開設への準備を始めた。

(3) 介護保険制度改正に伴う家事援助サービス分野の協力体制強化を図った。

(4) 石川県シルバー人材センター連合会と連携した育成・支援・SP等各種技能講習会の開催を行なった。

(5) 受注が少ない冬季の期間限定割引等による就業機会の確保を行なった。

3 会員の安全就業と就業に関する知識・技能の向上

事故ゼロを目指した安全就業に関する意識の徹底と、知識・技能向上を図る機会を作り、会員個々の就業機会の開発と、技能継承に努めた。

- ・会員への賠償事故防止対策指示の徹底と現場管理
- ・安全・適正就業委員会を中心とした現場パトロールの強化
- ・安全・適正就業委員会による検討会議で事故原因の追究と再発防止
- ・県シ連と連携した「刈払機安全取扱い講習会」開催

- ・知識向上の為の救命救急講習会
- ・「いきいき通信」を活用した安全就業の啓発
- ・現場仕事の会員を対象とした朝礼・終礼の徹底と安全就業に対する意識改革並びに清掃業務従事会員への業務内容再確認を行なった。

4 普及啓発

センターのPRを兼ね、地域住民及び各種団体との連携強化と会員の一体感醸成のため、ボランティア活動にも取り組んだ。

- ・町役場周辺の除草奉仕活動の実施
- ・普及啓発月間中、町内スーパーマーケット店頭でのチラシ配布によるPR
- ・高齢者スポーツ大会への出向チラシ配布
- ・オパール会（女子会）バザー等の開催によるPR活動
- ・チラシで作るゴミ入れの作成・配布（配布先：内灘町役場、子育て支援センター、町内保育園、介護施設、各公民館等）ボランティア
- ・1会員1名勧誘並びに1顧客紹介運動
- ・チラシによるシルバー人材センターPR
- ・内灘町広報等によるセンター事業のPR及び技能講習会案内

5 自主財源確保・打開策

- ・県下17シルバー人材センターとの連絡・調整
- ・新規事業への調査・準備
- ・派遣事業の拡大